

サラエボ県交通省副大臣ら7名 高松市及び札幌市で公共交通に関する研修に参加！



※写真は昨年(2022年)実施した第1回本邦研修の様子

国際協力機構（JICA）では、ボスニア・ヘルツェゴビナ国サラエボの公共交通改善を目的とした「サラエボ県公共交通管理及び運営能力強化計画策定プロジェクト」を2020年10月から実施しています（2023年10月までの予定）。

ボスニア・ヘルツェゴビナ国最大の県であるサラエボ県（人口約40万人）では、公共交通としてバス、トラム、トロリーバス、ミニバスが運行されていますが、近年利用者が減少し、市内の交通渋滞が悪化していることから、①サラエボ県交通省の公共交通政策の改善、②公共交通事業者のマネジメント能力の改善、③車両、軌道及びデポの更新計画の改善、④公共交通利用者の利便性向上に向けた活動を行っています。

高松市とサラエボ市は都市の規模が同程度であり、いずれも都市の公共交通として鉄道と路線バスを有している。高松では公共交通網がよく整備され、市民の足として高いサービスを提供していることから、今般、**サラエボ交通省副大臣ら7名が、高松市を訪問（高松市役所、ことでん、JR高松駅等を訪問予定）し、高松市の交通政策やことでんの取り組み、JR高松駅の駅施設等について、視察・研修を受ける予定です。**また、高松訪問後は、札幌に移動し、札幌市役所の交通戦略や北海道中央バス取り組み、札幌市交通事業振興公社の訪問等、視察及び研修を予定しています。高松及び札幌滞在中に、**副大臣他に個別インタビューを調整することが可能です。**ぜひ、ご取材ください！

なお、プロジェクトの詳細やサラエボの公共交通の概要はこちらからもご確認頂けます。
https://www.jica.go.jp/project/bosnia_h/003/index.html

事業名：	サラエボ県公共交通管理及び運営能力強化計画策定プロジェクト 第2回本邦研修
対象国：	ボスニア・ヘルツェゴビナ
参加者 (7名)：	Emir Hota (エミール・ホタ) サラエボ交通省副大臣他、地方公共交通担当者等
来日期間：	2023年5月15日(月)～25日(木) ※高松滞在期間：5月17日(水)～5月20日(土) ※札幌滞在期間：5月21日(日)～5月24日(水)

通訳(セルボ・クロアチア語-日本語)が同席しますので
 参加者へのインタビューも可能です。

ぜひ ご取材ください！



研修詳細

1. 取材可能日

① 高松市長表敬、高松市の交通政策の紹介（講義）

- ・日時: 2023年5月18日（木）表敬 9:20-9:30、講義9:30-11:30
- ・場所: 高松市役所 会議室、9:15に1Fロビーにて合流後会議室へ移動
- ・参加者: 大西市長、高松市役所職員、
JICAプロジェクト専門家他、研修員・通訳
- ・内容: 高松市の交通政策、公共交通の取り組み紹介

② 交通結節の現場視察（ことでん伏石駅）

- ・日時: 2023年5月19日（金） 14:00-15:30
- ・場所: ことでん伏石駅
- ・参加者: 高松市役所職員、高松琴平電気鉄道(株)職員、JICAプロジェクト専門家他、研修員・通訳
- ・内容: ことでん伏石駅の駅前広場の視察（交通結節点機能（バスベイ、タクシー乗り場、）情報掲示版等）

2. 主な研修行程

- ・5/18(木) 高松市役所訪問（交通政策の講義）、JR四国 高松駅視察他
- ・5/19(金) ことでん本社訪問（公共交通の事業に係る紹介）、ことでん伏石駅視察
- ・5/22(月) 札幌市役所訪問（交通政策の講義）、札幌市交通事業振興公社訪問（視察）
- ・5/23(火) 北海道中央バス訪問（公共交通の事業に係る紹介）

- ・インタビューは通訳を介して実施可能です。
- ・上記以外の時間での研修員、研修関係者への質問も可能です。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA四国 業務課 研修担当 船越

TEL:087-821-8826/080-7138-9843

email:Funakoshi.Yohei@jica.go.jp

※場所や時間に限りがありますので、取材をご希望の方は